

児童虐待の相談が急増

滋賀県児童相談所へ聞き取り調査

共産党野洲市議団ら党地方議員団は17日、滋賀県中央児童相談所を訪れ、県内の実態を聞くとともに、相談・支援体制の充実を求めました。9月議会でも市の取り組みについて質問します。

相談・支援体制の充実が急務です

現在、滋賀県には大津と彦根に県立の児童家庭相談センターがあります。児童福祉法の改正に伴って、平成17年4月から、市町が第一義的に児童家庭相談を行い、センターは、重篤事例などの対応や市町との連携・支援を行うことになりました。

また虐待による一時保護件数は306件で、延べ件数は対前年の1.5倍、中央児童相談所の施設は、今年に入って「満員」で、入所待ちという状況にもなっています。

県全体でみると昨年度は対前年比467件増。子ども人口1000人にあたり1.09件で、初めて1%を超えました。

ところが児童福祉司の配置基準が低いために、相当な数の相談に対応しなければなりません。専門的な児童心理司も不足しており、こうした相談・支援体制の拡充が急務です。

虐待種別では、「保護の怠慢ないし拒否（ネグレクト）」の割合が5割を占め、毎年その数は増える傾向にあります。次いで身体的虐待（31%）、心理的虐待（14%）となっています。年齢別では小学生が約4割。相談の経路では、「学校」が全体の3割。次いで「市町」となっています。主な虐



一般質問 8～10日です

9月定例市議会の一般質問は、8～10日に行われます。ぜひ傍聴にお越しください。



小菅六雄 市議

国が国民健康保険を県単位の広域化に。社会保障制度を守れと求めます。鳥獣被害防止対策の取り組みを求めます。県立高校の統廃合やめよを求めます。



野並享子 市議

滋賀県では2ヶ所の児童相談所で十分な体制とは言えません。県及び野洲市の相談・支援体制の充実を求めます。同和行政の廃止を求めます。



太田健一 市議

市内循環バスは4月から新たにスタートしました。この間の問題点や課題を明らかにし、市民が利用しやすいバス運行を求めます。野洲市の観光・まちづくりを求めます。

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2010年9月5日 204

暮らしのご相談・要望
お寄せください

小菅六雄
野並享子
太田健一

（電話・FAX）589-4971 （メール）shgdy177@ybb.ne.jp
（電話・FAX）587-0985 （メール）no73kyo_ko@ybb.ne.jp
（電話・FAX）588-3169 （メール）kensan.world21@docomo.ne.jp

市議会ホームページをご覧ください
<http://www.yasusigi.net/>